

令和3年3月1日

当院で脳梗塞の入院治療を行った患者さん・ご家族様へ

国立循環器病研究センター脳血管内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日本脳卒中データバンクに保管している診療情報や、これまでの治療のカルテ情報から得られた研究データをまとめるものです。この案内をお読みにになり、ご自身がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分の情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。

ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2001年～2015年の間に日本脳卒中データバンクに登録された方。また、2011年1月1日～2015年12月31日の間に国立循環器病研究センター脳内科に非心原性脳梗塞で入院された方。

【研究課題名】入院後進行型脳梗塞患者の病態特性に関する後ろ向き研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 副院長 豊田一則

【研究の目的】発症後に経時的に症状が悪くなる脳梗塞の特徴を明らかにします。

【利用する診療情報】診断名、年齢、性別、既往歴、現病歴、身体所見、頭部画像所見、治療内容、症状の経過、転帰（退院後の情報を含む）

【外部機関からの研究データの提供】

上記の診療情報を、下記の機関より提供を受けます。

【主な共同研究機関及び研究責任者】

1. 島根県病院局 病院事業管理者 山口修平
2. 東海大学医学部附属八王子病院・神経内科教授 野川茂
3. 社会医療法人医仁会中村記念病院・脳神経外科部長 上山憲司
4. 九州大学大学院医学研究院・病態機能内科学（第二内科）教授 北園孝成
5. 岩手医科大学医学部 内科学講座 神経内科・老年科分野 教授 板橋亮
6. 岩手医科大学・脳神経外科学講座教授 小笠原邦昭

上記ほか日本脳卒中データバンク参加施設（約130施設）

【研究期間】倫理委員会承認日より2023年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳血管内科 担当医師 吉村壮平
電話 06-6170-1070(代表)